

令和4年10月20日14時00分  
近畿地方整備局  
足羽川ダム工事事務所

## 「足羽川ダム定礎式」を開催します

福井県今立郡池田町に建設中の足羽川ダムは、これまで付替道路工事を進め、令和2年度よりダム本体建設工事に着工しました。このたび、足羽川ダムの堤体打設の開始にあたり、建設にご協力いただいた関係各位に謝意を表すとともにダムの永久堅固と安泰を祈願する「定礎式」を別紙1のとおり行います。

- 日時 : 令和4年11月19日(土)午前11時00分～12時30分まで
- 会場 : 福井県今立郡池田町小畑地先 ※別紙2参照
- 主催 : 国土交通省 近畿地方整備局
- 取材 : 取材希望の方は、別紙3 取材についてをお願いをご確認のうえ、10月31日までに電子メール(kkr-asuwa-kouhou@mlit.go.jp)または別紙4 取材FAX申込書にてお申し込みください。  
※新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら開催いたします。
- その他 : 当日の式典の様子については、下記のYoutubeチャンネルでライブ配信する予定です。当日、関係者以外の方は足羽川ダム関連施設への入場は出来ませんので、あらかじめご了承ください。

channel Asuwagawa

<https://www.youtube.com/channel/UCKFVrdu3XJirOhco4Jjq79w/featured>

<取扱い>

<配布場所>

近畿建設記者クラブ  
大手前記者クラブ  
福井県政記者クラブ

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所  
副所長 伊藤 昌資 (いとう まさし)  
調査設計課長 川内 嘉起 (かわうち よしき)  
電話 : 0776-27-0642(代表)

## 足羽川ダム定礎式

### ■式典の概要

- 主催：国土交通省近畿地方整備局
- 日時：令和4年11月19日（土）  
11時00分～12時30分（式典）
- 会場：福井県今立郡池田町小畑（ダム建設現場）

### ■式次第

- 開式の辞
- 式辞
- 祝辞
- 来賓紹介
- 工事報告
- 施工者挨拶
- 祝電披露
- 定礎の儀 礎石搬入
- 定礎宣言
- 定礎の儀
  - ・鎮定の儀
  - ・斎饗の儀
  - ・斎槌の儀
  - ・埋納の儀
- 久寿玉開披
- 万歳三唱
- 閉式の辞

## 足羽川ダム定礎式 会場地図



### ■お車でご来場の方

北陸自動車道「福井IC」から約50分（国道158号、県道2号、国道476号、を南下し松ヶ谷で県道34号へ左折。

北陸自動車道「鯖江IC」から約50分（県道18号・243号・2号、国道476号を北上し松ヶ谷で県道34号へ右折。

北陸自動車道「武生IC」から約50分（県道262号・2号・国道476号を北上し松ヶ谷で県道34号へ右折。

## 取材についてのお願い

報道関係者は、下記により、円滑な進行にご協力くださいますようお願いいたします。

### ■事前登録

- ・取材を希望される方は、10月31日(月)17:00までに以下のいずれかの方法により事前登録をお願いします。

#### <電子メールによる申込み>

メール本文に ①貴社名 ②ご担当者の氏名（ふりがな）・所属部署名 ③ご連絡先（住所・電話番号・FAX番号）※取材票の郵送先 ④ご同行者の氏名（ふりがな） ⑤車両台数 ⑥車両ナンバー  
を記載のうえ [kkk-asuwa-kouhou@mlit.go.jp](mailto:kkk-asuwa-kouhou@mlit.go.jp) までご送付下さい。

#### <FAXによる申込み>

別紙4「取材FAX申込書」に必要事項を記入の上、足羽川ダム工事事務所 総務課宛にFAXにて申し込みいただきますようお願いいたします。

### ■その他

- ・当日、記者及びカメラマンの方は、自社の腕章を着用いただきますようお願いいたします。
- ・式遂行上の都合により、内容・時間が変更になる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お車でお越しの場合は、後日送付する「取材票」をお車のフロントガラスから見える位置に置いてください。「取材票」がない場合は、入場をお断りする場合がございます。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策について
  1. 当日は感染予防のためマスクを着用ください。
  2. 以下の症状がある場合はご来場をお控えいただきますようお願いいたします。
    - ①風邪の症状や体温が37.5℃以上または平熱より1度以上高い場合、同居者に発熱がある方
    - ②強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方
  3. 当日は受付前に検温をさせていただきます。発熱など体調に不安がある方は、取材をお断りする場合があります。

# 取材 FAX 申込書

足羽川ダム工事事務所 総務課 宛

FAX番号：0776-27-0643

	足羽川ダム定礎式
参加日時	令和4年11月19日(土) 11:00~12:30
貴社名	
(ふりがな) ご担当者氏名	( ) 氏 名  所属部署名等
ご連絡先	住 所 〒 電話番号 ( ) FAX番号 ( ) E-mail
(ふりがな) 同行者名	( ) 氏 名 ( ) 氏 名 ( ) 氏 名
車両台数	
車両ナンバー	

※上記の記入欄は全てご記入下さい(必須)。

※申込み頂いた方に対して、後日取材表を送付します。

当日は、必ずフロントガラスから見える位置に取材票を置いてご来場下さい。

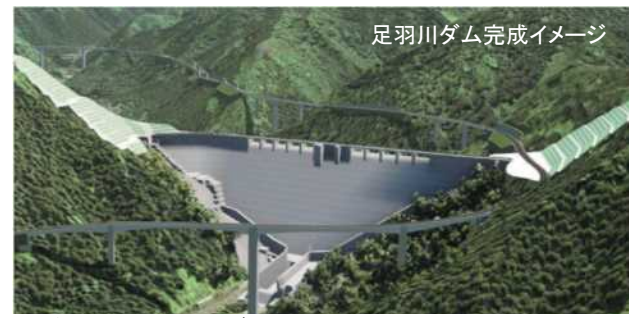
## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所 総務課

TEL 0776-27-0642(代表)

※送付状は不要ですので、本紙のみをそのままFAXして下さい。【10月31日(月)17:00締め切り】

# あすわがわ 足羽川ダム建設事業



- 平常時は、水を貯めない洪水調節専用の流水型ダム。
- 高さ約96mの重力式コンクリートダムで、足羽川の支川の部子川に建設。

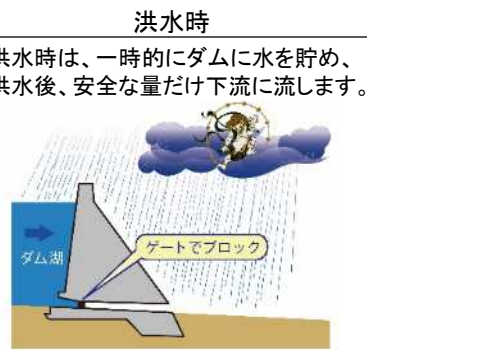
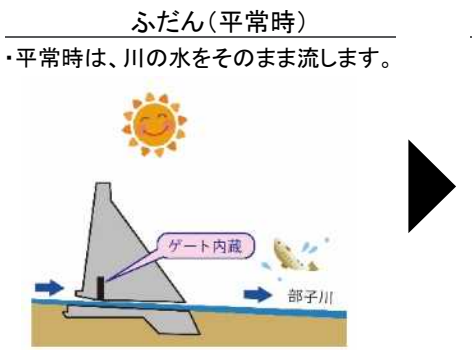
場所	福井県今立郡池田町 (九頭竜川水系足羽川)
目的	洪水調節 (足羽川、日野川、九頭竜川の洪水防御)

堤体	形式：重力式 コンクリートダム
堤高	約96m
堤頂長	約351m

総事業費	約1,300億円
工期	昭和58年度～令和8年度

ダム洪水調節地	集水面積：約55km <sup>2</sup> (I期事業) 貯水面積：約94ha 常時満水位：—(常時は空虚) サーチャージ水位：標高265.7m 総貯水容量：約28,700,000m <sup>3</sup> 洪水調節容量：約28,200,000m <sup>3</sup>
---------	--

## 洪水調節専用(流水型)ダムのイメージ

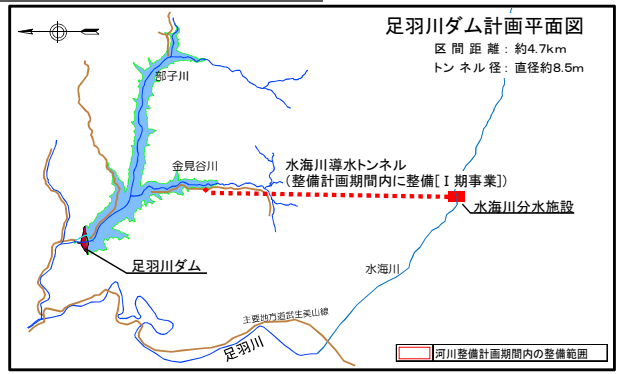


流水型ダムとは洪水調節専用のダムであり、平常時は水を貯めずに、洪水時に一時的に水を貯める、下流河川の洪水被害を低減するダムのことです。平常時は水を貯めず普通の川の状態が維持されるため、ダム上下流において水質が維持され、土砂も流水とともに下流に流れていきます。

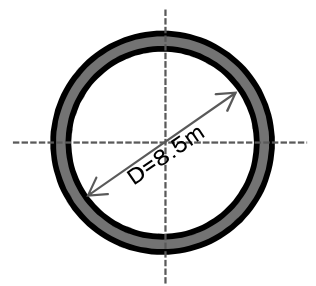
## 水海川導水トンネル

- 下流の洪水を防ぐため、より多くの洪水の水をダム湖に集めるための導水トンネル。
- 河川整備計画対応のI期事業では1河川(水海川)からの導水トンネルを整備。

## 導水トンネル(I期事業)平面図



## 導水トンネル(I期事業)断面図



## 足羽川ダム建設事業経緯

昭和58年 4月	実施計画調査開始
平成 6年 4月	建設事業に移行
平成11年11月	代替ダムサイト候補案の公表 (H9.9ダム審議会より答申。旧ダムサイトは社会的影響が大きいため(約220戸の移転)、水没帯が少なくなるように最善の努力。H19年2月河川整備計画によりダムサイトを正式決定)
平成14年 1月	県から「足羽川ダムに係る水需要計画」の回答 (足羽川ダムの新規利水(上水道・工業用水)は不参加としたい。)
平成16年 7月	福井豪雨による甚大な被害の発生 (死者行方不明者5名、重軽傷者19名、住居全半壊196戸、床上浸水3,313世帯、床上下浸水10,324世帯(福井県地域防災計画 資料編 H29.3))
平成18年 2月	九頭竜川水系河川整備基本方針策定
平成19年 2月	九頭竜川水系河川整備計画策定 (I期工事(足羽川ダム・水海川導水路・水海川分水工)が位置付け)
平成22年12月	ダム事業の検証に係る検討を開始
平成24年 7月	ダム事業の検証において、事業継続の対応方針決定
平成25年 2月	九頭竜川水系足羽川ダム建設事業環境影響評価書の公告・縦覧
平成25年 3月	足羽川ダム建設事業に伴う損失補償基準の締結
平成26年 6月	足羽川ダム建設事業(県道松ヶ谷宝慶寺大野線付替工事)着工式
平成27年 1月	水源地域対策特別措置法に基づく、足羽川ダムに係る水源地域の指定
平成27年 3月	水源地域対策特別措置法に基づく、足羽川ダムに係る水源地域整備計画の決定
平成29年 7月	足羽川ダム建設事業(水海川導水トンネル工事)起工式
平成30年 3月	転流工事 着工
令和 2年11月	足羽川ダム建設事業(本体建設工事)起工式